



小型株ファンド

追加型投信／国内／株式

愛称：グローイング・アップ

販売用資料
2023年11月

2023年度上半期(4月-9月)の運用状況と今後の見通し

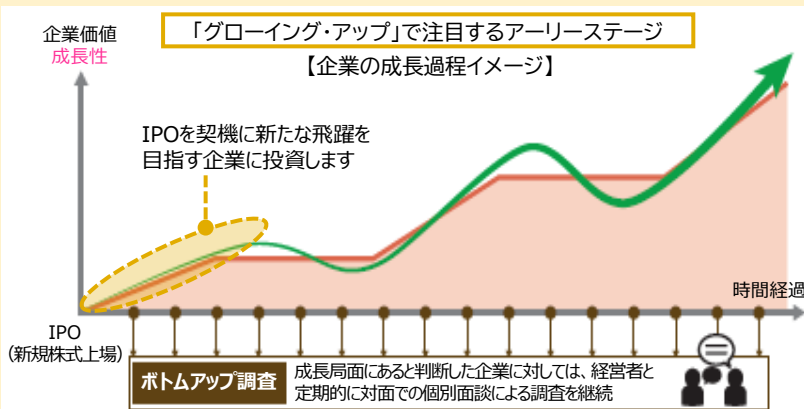
平素は、「小型株ファンド（以下「当ファンド」）」をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。
本資料では、2023年度上半期の運用状況、当ファンドの投資助言を担当するエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社（以下「エンジェルジャパン」）からの運用状況およびコメントなどについてご報告させていただきます。

当ファンドの投資対象について

新規株式公開（IPO）を契機に新たな飛躍を目指す、企業家精神にあふれた「次代を拓く革新高成長企業」を主要な組入対象とします。

※当ファンドでは、国内の中小型株式を主要投資対象としています。

※IPO直後から3年程度までの企業を中心に投資を行っています。

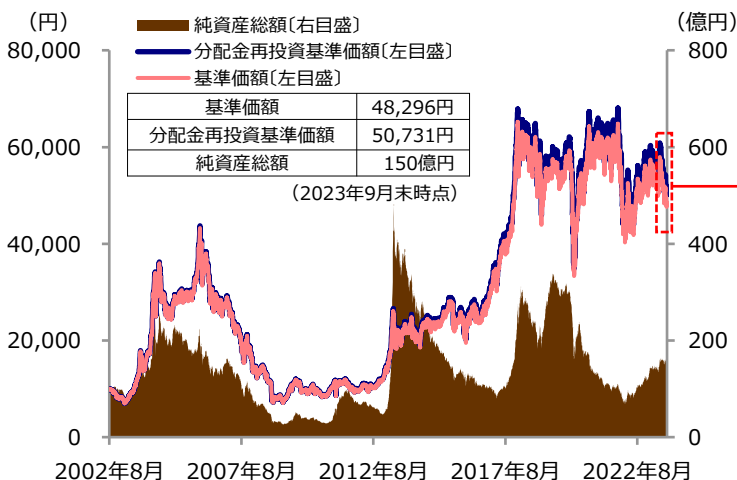


●国内株式市場の動きと基準価額および純資産総額の推移

2023年4月から9月の国内株式市場は、**大型・割安株を中心に大きく上昇し、中小型・成長株は選好されず上値が重い展開**となりました。3月に東京証券取引所はPBR（株価純資産倍率）が1倍を下回る上場企業に対して改善策を要請し、上場企業の経営改革や資本政策への期待が広がったことや、著名投資家ウォーレン・バフェット氏による日本株への追加投資報道を好感し、**TOPIXは約33年ぶりの高値を更新**しました。その後は、米国の金融引き締め長期化懸念などから下落したものの、TOPIX（配当込み）のパフォーマンスは+17.3%となりました。

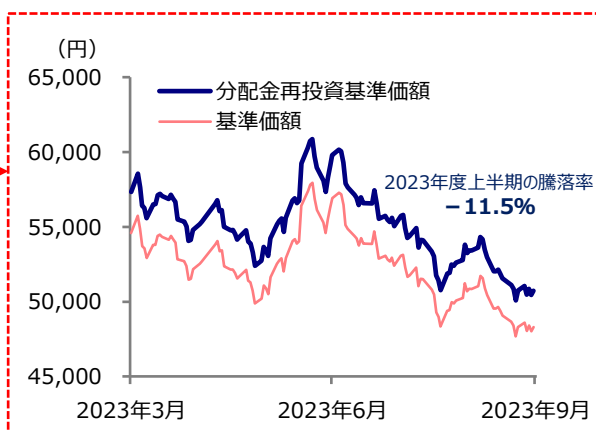
設定来の基準価額と純資産総額の推移

期間：2002年8月13日（設定日）～2023年9月末、日次



2023年度上半期の基準価額の推移

期間：2023年3月末～2023年9月末、日次



※ 基準価額は、運用管理費用（信託報酬）控除後の10,000口あたりの値です。
※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、分配金実績があった場合に税引前分配金を再投資したものととして算出しています。
※ 騰落率は分配金再投資基準価額で算出しています。
※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、当資料に掲載される予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。

投資信託は、元本が保証された商品ではありません。お申込みの際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※ 最終ページの「当資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

●2023年度上半期(4月-9月)の運用状況とエンジェルジャパンのコメント



当ファンドの運用状況

- 国内の小型・成長株を投資対象としている小型株ファンドの分配金再投資基準価額は-11.5%となりました。下落の背景は、大型・割安株に注目が集まり、市場の傾向として業績が概ね好調であったにもかかわらず株価に反映されない展開が続いたこと、また、新規公開して間もない企業の株価が軟調となったことに起因すると考えています。
- 足元の組入企業の業績は概ね堅調に推移しており、エンジェルジャパンが予想した利益成長率は、2023年6月末から1年間で+33%、2024年6月末から1年間で+34%となっています（2023年6月末時点）。一方、会社四季報（2023年4集秋号）が集計した「金融を除く全産業」の純利益予想増減率は、今期*が+7.6%、来期*が+5.8%となっており、上場企業全体と比較して当ファンドの組入企業は高い成長率となる見通しです。なお、9月末時点では2023年9月末から1年間で+38%、2024年9月末から1年間で+35%となっております。
*今期：2023年7月期～2024年6月期、来期：2024年7月期～2025年6月期
- 当ファンドは20年以上一貫して、新規公開を機に成長を加速する革新成長企業を厳選して投資する方針を継続しています。短期的な要因でこの方針が揺らぐことなく、企業を慎重に見極め構築したポートフォリオが、中長期的には利益成長に連動したリターンを提供できると考えています。今後も新規公開企業と面談を行い次代を担う成長企業の発掘に努めてまいります。



エンジェルジャパンのコメント

- 米国の長期金利が上昇するなか、大型・割安株の選好が一段と強まり、中小型・成長株については業績が好調でも株価はさえない展開が続いています。当ファンドについては、当期間も積極的に対面での個別面談を実施し、また組入銘柄の決算についても綿密に分析を進めてきました。その結果、例えば2023年4-6月期決算は、ポートフォリオの約75%が当社想定通りもしくは上振れて推移するなど、ポートフォリオの質は依然高い水準を維持していると考えています。
- 一方で、このような相場環境下で、業績の方向性と株価の乖離は広がり、バリュエーション（企業の利益や資産などの企業価値評価）は切り下がっております。これまでの20年以上の経験からも、過小評価された株価は、成長力に見合った水準に収れんしていくものとみています。今後も、革新性の高い企業を見出すという観点を強めながら一層意欲的に個別面談による調査を行い、来期に向けて備えてまいります。

※ 上記は当ファンドの投資助言を担当するエンジェルジャパンの見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

●組入銘柄の寄与度

2023年度上半期（4月-9月）において、銘柄別のパフォーマンス寄与率は以下の通りとなりました。

<上位5銘柄>

	銘柄名	業種	寄与率
1	TWOSTONE & Sons	サービス業	1.5%
2	ボードルア	情報・通信業	1.0%
3	Speee	情報・通信業	0.7%
4	システムサポート	情報・通信業	0.6%
5	ビーイングホールディングス	陸運業	0.6%

<下位5銘柄>

	銘柄名	業種	寄与率
1	ダイレクトマーケティングミックス	サービス業	-1.6%
2	BuySell Technologies	卸売業	-1.5%
3	アйдマ・ホールディングス	サービス業	-1.2%
4	シキノハitech	電気機器	-1.1%
5	プロジェクトカンパニー*	サービス業	-1.0%

* 売却済み（2023年9月末時点で組入はありません）。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、当資料に掲載される予測、見直し、見解のいずれも実現される保証はありません。
※ 最終ページの「当資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。



プラス寄与した上位銘柄

TWOSTONE & Sons（組入14位:組入比率2.6%）

- ITエンジニアと企業をマッチングする「Midworks」を主力事業としていたが、他の事業とのシナジー効果を高めるため、2023年6月にホールディングス体制へ移行した。
- エンジニアの稼働数と登録数が増加しているほか、M&A戦略で子会社化した新規事業と既存事業の拡大を目指し、新規採用と育成に力を入れていることを評価している。

ボードルア（組入5位:組入比率3.1%）

- ITシステムを支えるネットワークインフラ分野に特化しており、コンサルティングから設計、構築、その後の運用、保守まで、専門技術を活かしたサービスを提供している。
- クラウドサービスの活用が一般化した影響で専門技術を駆使した設計・構築が必要とされているが、意外にも専門業者が少ない領域。この分野の人材育成や専門人材を増員できていることに強みがあり、成長が期待できると評価している。



マイナス寄与となった上位銘柄

ダイレクトマーケティングミックス（組入48位:組入比率0.5%）

- 顧客が本業に集中できるよう、課題としている営業力の不足からDX（デジタルトランスフォーメーション）推進まで営業・マーケティングに関するソリューションを提供している。
- 急拡大したワクチン接種関連業務が反動で縮小していることなどから株価は軟調となっている。業務の難易度や要求されるスキルが多様になっていることに着目し、労働可能時間が短く戦力化しにくい層も独自の教育・評価制度で生産性の高い人材へ育成することに引き続き注目している。

BuySell Technologies（組入24位:組入比率2.1%）

- 買取・販売を一貫して提供する総合リユースサービスを展開。家庭に眠る活用されていない着物・切手・貴金属・ブランド品等の高額品を出張訪問査定などによって仕入れ、オークションや電子商取引、催事などで販売している。
- コロナ禍で自宅整理ニーズが高まった前年より出張訪問買取の問合せ件数が減少し、追加で広告を行ったものの減益となり、株価が下落した。子会社を含め売上高は回復に向かう兆しもあり、今後の動向に注目している。

【株価の推移】



【株価の推移】



【株価の推移】



【株価の推移】



出所：ファクトセット、会社決算資料等より明治安田アセットマネジメント作成

※ 組入比率は2023年9月末時点。業種は東証33業種分類です。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、当資料に掲載される予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。

※ 上記は個別銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではなく、今後当ファンドが当該銘柄に投資することを保証するものではありません。

※ 最終ページの「当資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

●投資助言会社エンジェルジャパンが注目した企業

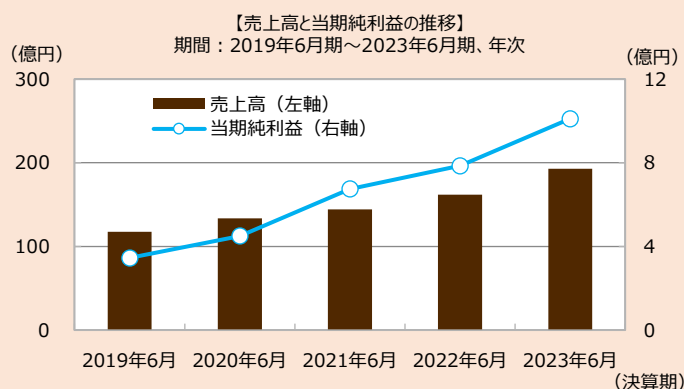
投資助言会社であるエンジェルジャパンは、様々な観点で成長を目指している企業を選定しています。以下に、2023年度上半期（4月-9月）に注目した銘柄をいくつかご紹介させていただきます。

※特定のテーマに沿った銘柄選択をしているわけではありません。

①システムサポート（組入1位:組入比率3.2%）

～着眼点：クラウドとソフトウェアで企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進～

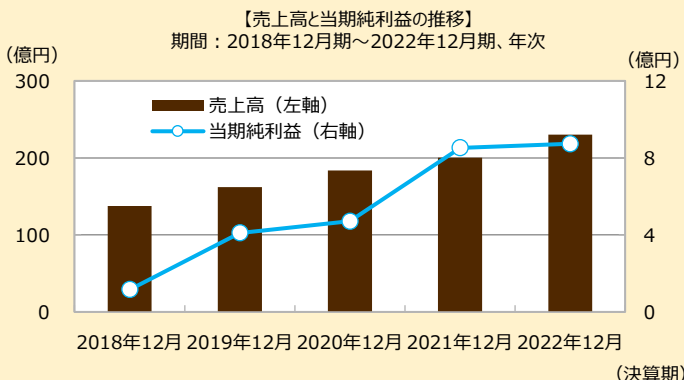
- ▶ 独立系のシステム開発・ITサービス会社で、大手クラウドサービスである、オラクル、アマゾン、マイクロソフト、グーグルに対応可能なクラウド開発力に強みがある。
- ▶ 米国シリコンバレーの有力新興企業とパートナー契約を締結し、いち早く日本で展開する先見性に注目している。拡大する企業のシステム開発需要に対応できることを評価している。



②ビーイングホールディングス（組入7位:組入比率2.9%）

～着眼点：効率化を重視している物流業者。DXを駆使して荷主企業に物流改革を提案～

- ▶ 食品や日用雑貨など生活物資に特化し、「クスリのアオキ」「PALTAC」といった大手ドラッグストアや「三菱食品」といった卸売業を主要顧客にもつ。
- ▶ 倉庫・輸送・配送・生産性の管理システムを自社開発し、物流センターの在庫量から入出庫、配送車両の位置情報まで把握して効率化を実現。さらに荷主企業に、倉庫の統合など物流の改善や配送コスト削減などコンサルティングサービスも提供し、物流の効率化を推進していることを評価している。



出所：ファクトセット、エンジェルジャパン資料、会社決算資料等より明治安田アセットマネジメント作成

※ 組入比率は2023年9月末時点。

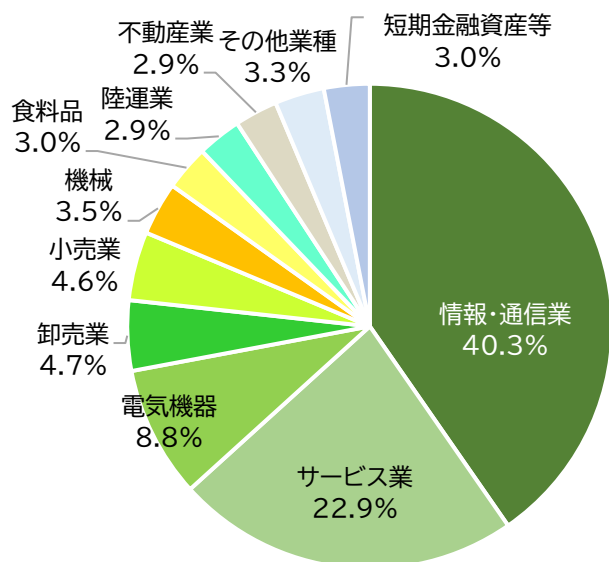
※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、当資料に掲載される予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。

※ 上記は個別銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではなく、今後当ファンドが当該銘柄に投資することを保証するものではありません。

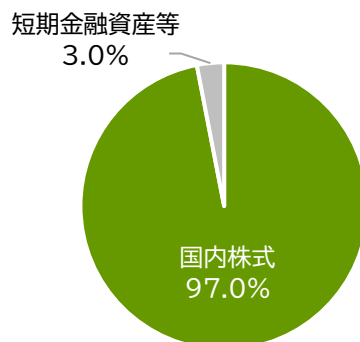
※ 最終ページの「当資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

●ポートフォリオの状況（2023年9月末時点）

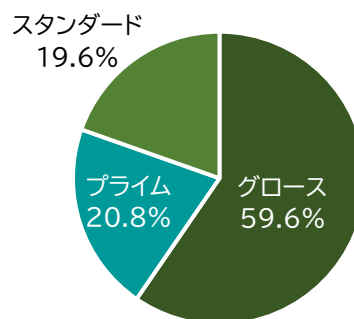
業種別組入比率



資産別構成比率



市場別構成比率*



*国内株式に対する比率。

組入上位10銘柄（組入銘柄数:53）

	銘柄名	業種	比率	銘柄紹介
1	システムサポート	情報・通信業	3.2%	クラウド基盤構築・移行支援等のサービスを提供。
2	ステムセル研究所	サービス業	3.2%	さい帯血に含まれる幹細胞を抽出し長期保管する事業を展開。
3	コアコンセプト・テクノロジー	情報・通信業	3.2%	DX支援サービスが主力で製造業向けソリューション「オリヅル」を提供。
4	ギフトホールディングス	小売業	3.2%	独自の麺やスープを提供するラーメン店の運営などを展開。
5	ボードルア	情報・通信業	3.1%	ITインフラ分野に特化し、コンサルティングから保守運用まで手がける。
6	GMOフィナンシャルゲート	情報・通信業	3.0%	対面における電子マネーなどのキャッシュレス決済事業が主力。
7	ビーイングホールディングス	陸運業	2.9%	物流のコンサルティング、在庫管理および回収などのサービスを提供。
8	サンクゼール	食料品	2.9%	商品の企画から食材の調達と製造、自社店舗での販売を行う。
9	テンポイノベーション	不動産業	2.9%	店舗物件を賃借し、飲食店向けテナントに転貸する事業を展開。
10	セルソース	医薬品	2.8%	再生医療用に加工した血液や脂肪組織を医療機関へ提供。

※ 比率は純資産総額に対する割合です。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※ 業種は東証33業種分類です。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、当資料に掲載される予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。

※ 上記は個別銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではなく、今後当ファンドが当該銘柄に投資することを保証するものではありません。

※ 最終ページの「当資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

小型株ファンド 《愛称》グローイング・アップ 追加型投信／国内／株式

ファンドの目的

小型株ファンドは、わが国の金融商品取引所上場株式(これに準ずるものを含みます。)のうち、中小型株式を主要投資対象として、信託財産の積極的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- 1 小型株ファンドは、わが国の金融商品取引所上場株式(これに準ずるものを含みます。)のうち、中小型株式を主要投資対象とします。
- 2 新規株式公開企業等の中小型株式に特化して調査・分析を行うスペシャリストが「次代を拓く革新高成長企業」を厳選します。
- 3 エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社(以下「エンジェルジャパン社」ということがあります。)より投資に関する助言を受けて運用を行います。

分配方針

年1回(8月12日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

・分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

・収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。また、信託財産の積極的な成長を図ることを本旨として収益分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

※将来の収益分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動の影響を受け、基準価額は変動します。これらの運用により信託財産に生じた運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。

したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。**

投資信託は預貯金と異なります。

なお、ファンドが有する主なリスクは、以下の通りです。

主な変動要因

株価変動リスク	株式の価格は、政治・経済情勢、金融情勢・金利変動等および発行体の企業の事業活動や財務状況等の影響を受けて変動します。保有する株式価格の下落は、ファンドの基準価額を下げる要因となります。
流動性リスク	株式を売買しようとする際、需要または供給が少ないため、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買できなくなることがあります。ファンドが保有する資産の市場における流動性が低くなった場合、売却が困難となり、当該資産の本来の価値より大幅に低い価格で売却せざるを得ず、ファンドの基準価額を下げる要因となります。
信用リスク	投資している有価証券等の発行体において、利払いや償還金の支払い遅延等の債務不履行が起こる可能性があります。また、有価証券への投資等ファンドに関する取引において、取引の相手方の業績悪化や倒産等による契約不履行が起こる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価額で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 資金動向、市況動向等によっては、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があるため、分配水準は必ずしも当該計算期間中の収益率を示すものではありません。
投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況により、分配金額の全部または一部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。
分配金は純資産から支払われるため、分配金支払いに伴う純資産の減少により基準価額が下落する要因となります。当該計算期間中の運用収益を超える分配を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べ下落することとなります。

小型株ファンド 《愛称》グローイング・アップ

追加型投信／国内／株式

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社へお問合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。以下同じ。) ※基準価額は販売会社または委託会社へお問合わせください。
購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社へお問合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から 0.5% の信託財産留保額を控除した額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から受益者に支払います。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までには販売会社が受付けた分を当日の申込みとします。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2002年8月13日から2032年8月10日まで
繰上償還	委託会社は、純資産総額が10億円を下回った場合、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。また、当ファンドにおける投資顧問契約(助言契約)が解約された場合には、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。
決算日	毎年8月12日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※当ファンドには、「分配金受取りコース」および「分配金再投資コース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については、異なる場合がありますので、販売会社へお問合わせください。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用・税金

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.3% (税抜3.0%) を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳細については、お申込みの各販売会社までお問合わせください。 ※購入時手数料は、購入時の商品説明、事務手続き等の対価として販売会社にお支払いいただきます。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.5% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	<p>ファンドの純資産総額に対し、年1.87% (税抜1.7%)の率を乗じて得た額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの日々の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日(該当日が休業日の場合は翌営業日)および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。</p> <p>内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配分</th> <th>料率(年率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>1.012% (税抜0.92%)</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.748% (税抜0.68%)</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.11% (税抜0.1%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.87% (税抜1.7%)</td> </tr> </tbody> </table>	配分	料率(年率)	委託会社	1.012% (税抜0.92%)	販売会社	0.748% (税抜0.68%)	受託会社	0.11% (税抜0.1%)	合計	1.87% (税抜1.7%)
配分	料率(年率)										
委託会社	1.012% (税抜0.92%)										
販売会社	0.748% (税抜0.68%)										
受託会社	0.11% (税抜0.1%)										
合計	1.87% (税抜1.7%)										
その他の費用・手数料	<p>信託財産の監査にかかる費用(監査費用)として監査法人に年0.0044% (税抜0.004%)を支払う他、有価証券等の売買の際に売買仲介人に支払う売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、その他信託事務の処理に要する費用等がある場合には、信託財産でご負担いただきます。</p> <p>※その他の費用については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示することができません。また、監査費用は監査法人等によって見直され、変更される場合があります。</p>										

※当該手数料等の合計額については、投資者の皆さまの保有期間等に依りて異なりますので、表示することができません。

ファンドの税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税します。普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税します。換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

- ※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※法人の場合については上記とは異なります。
- ※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更されることがあります。税金の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めいたします。

小型株ファンド 《愛称》グローイング・アップ

追加型投信／国内／株式

販売会社一覧

※お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

(2023年9月末時点)

販売会社名	登録番号	加入協会					備考
		日本証券 業協会	一般社団 法人日本 投資顧問 業協会	一般社団 法人第二 種金融取 引業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	日本商品 先物取引 協会	
銀行							
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○				
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○				
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○			○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○			○	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○			○	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○			○	
証券会社							
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○			○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	

小型株ファンド 《愛称》グローイング・アップ

追加型投信／国内／株式

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。投資信託の運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、また、登録金融機関から購入された投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料の記載内容、グラフ・数値等は資料作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料の運用実績に関するグラフ・数値等は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。各主体は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任はありません。
- 当資料中に例示した個別銘柄について、当該銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではなく、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人の概要

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 明治安田アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第405号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三菱UFJ信託銀行株式会社
投資顧問会社	株式運用に関する助言を行います。 エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱いおよび解約お申込みの受付等を行います。 販売会社一覧をご覧ください。

<ファンドに関するお問い合わせ先>

明治安田アセットマネジメント

フリーダイヤル 0120-565787（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページアドレス <https://www.myam.co.jp/>